

2022. 9. 29

報道関係者 各位

<配信枚数2枚>

若手研究者や大学院生が最新の研究成果を発信

OIC ライスボールセミナーのご案内

開催日：2022年10月14日（金）、10月28日（金）、11月11日（金）、

11月18日（金）、12月2日（金）

立命館大学は、若手研究者や大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、参加者と自由にディスカッションを楽しむ「OIC ライスボールセミナー」をオンラインで開催いたします。

ライスボールセミナーは、2007年に教職員の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者育成の取り組みの一環として、年間を通して定期的開催しています。

各テーマに興味がある方をはじめ、大学で展開する研究内容や研究の面白さ・魅力を知りたい方のご参加をお待ちしております。

記

(1)「移動する人々：コリョ・サラムの経験から」

日時：2022年10月14日（金） 12:20～12:50

(2)「司法と心理学の交点～なぜえん罪が生じるのか～」

日時：2022年10月28日（金） 12:20～12:50

(3)「サステイナブルな子育て～育児ストレスの移り変わりとう児セミナーの開発研究～」

日時：2022年11月11日（金） 12:20～12:50

(4)「AI×旅行～観光・ホスピタリティ業における新たな展開～」

日時：2022年11月18日（金） 12:20～12:50

(5)「Government's Effort and Intervention on Slum Alleviation, Public Housing, and its Development leading to Bridging Social Capital: Case Study of Special Province of Jakarta, Indonesia.(スラムの緩和、公営住宅、社会関係資本の整備に関する政府の取り組みと介入：インドネシア・ジャカルタ特別州のケーススタディ)」

日時：2022年12月2日（金） 12:20～12:50

※詳細は別紙をご覧ください。

会場：オンライン(Zoom)

対象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料、事前申し込み制 ※当日参加可能

参加方法：下記 URL より、参加登録のうえご参加ください。

https://www.ritsumei.ac.jp/research/ro_oic/event/?event_id=40

共催：立命館大学 OIC 総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構、立命館アジア・日本研究機構

以上

本リリースの配布先：大阪科学・大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 OIC リサーチオフィス ライスボールセミナー事務局

Email :riceball@st.ritsumei.ac.jp

< OIC ライスボールセミナー内容 >

(1) 移動する人々: コリョ・サラムの経験から

発表内容: 日本では知られていない地域である中央アジアには、コリョ・サラム(高麗人)と呼ばれるコリアン・ディアスポラ(離散の民)が住んでいます。彼らは移住と定着を繰り返し、変化しつつあるディアスポラ・マイノリティ集団です。今回は彼らの経験についてお話しします。

登壇者: 李眞恵 LEE JINHYE (OIC総合研究機構 専門研究員) 【研究分野: 地域研究、中央アジア、カザフスタン、ディアスポラ・マイノリティ、コリョ・サラム】

(2) 司法と心理学の交点～なぜえん罪が生じるのか～

発表内容: 目撃証言や裁判員制度での判断を筆頭に、様々な司法分野の問題に対して心理学的なアプローチが行われています。今回はその中でも「司法取引とえん罪」をテーマとした研究についてお話しします。

登壇者: 廣田貴也 NEXTフェローシップ・プログラム生(※2)
(人間科学研究科 博士課程後期課程) 【研究分野: 司法・犯罪心理学】

(3) サスティナブルな子育て～育児ストレスの移り変わりとう児セミナーの開発研究～

発表内容: 育児ストレスは、少子化問題、子どもの虐待や、母親の精神健康など様々な問題との関連があります。今回は、育児ストレスの移り変わりから、ストレス軽減を目的とした育児セミナーの開発研究についてお話しします。

登壇者: 木村駿斗 NEXTフェローシップ・プログラム生(※2)
(人間科学研究科 博士課程後期課程) 【研究分野: 発達心理学】

(4) AI×旅行～観光・ホスピタリティ業における新たな展開～

発表内容: AIやサービスロボットなどのスマートテクノロジーの利用は、観光に多様な変革をもたらしています。観光業界における、AIのような技術導入による近年の新たな動向と、導入に伴う問題点について、具体例を交えてお話しします。

登壇者: 樊凌云 FAN LINGYUN RARA 学生フェロー(※1)
(経営学研究科 博士課程後期課程) 【研究分野: 経営学、サービスマネジメント、観光マネジメント】

(5) Government's Effort and Intervention on Slum Alleviation, Public Housing, and its Development leading to Bridging Social Capital: Case Study of Special Province of Jakarta, Indonesia. (スラムの緩和、公営住宅、社会関係資本の整備に関する政府の取り組みと介入: インドネシア・ジャカルタ特別州のケーススタディ)

発表内容: 本発表では、インドネシア政府の視点から、公営住宅開発に関する予備的知見と、橋渡しの社会資本をどのように実現するかについてお話しします。

登壇者: ALPRADITIA MALIK アルプラディティア マリク(OIC 総合研究機構 専門研究員)
【研究分野: 都市・建築・住宅・社会】

※1 RARA 学生フェロー

Ritsumeikan Advanced Research Academy(立命館先進研究アカデミー 次世代研究者育成プログラム)の構成員。次世代の研究者として活躍が期待される大学院生(博士後期課程相当)。

※2 NEXT フェローシップ・プログラム生

本大学の研究拠点において、先端的な研究を行う多様な分野の研究人財と協働しながら研究活動に従事する、意欲の高い大学院生(博士後期課程相当)。